

設置計画の概要

事項	記入欄													
設置手続きの種類	事前伺い													
計画の区分	研究科の専攻の設置													
フリガナ	コリツダイガクホウジン ヤマナシダイガク													
設置者	国立大学法人 山梨大学													
フリガナ	ヤマナシダイガクダイガクイン													
大学の名称	山梨大学大学院 (Graduate School, University of Yamanashi)													
新設学部等において養成する人材像	① 教育に関する高度の専門性を有し、地域教育の向上に寄与できる教員及び専門家を養成する。 ② 学部教育段階で育成された基礎の上にさらに、自ら新たな教育実践を構想する力の基盤となる教育支援科学的調査研究法と最新の知見、及び教育文化(教育内容)の核を構成する本質的知見と教材研究力・教授法を獲得させる。 ③ 幼稚園、小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校の教員及び教育相談員													
既設学部等において養成する人材像	① 地域文化の向上に寄与できる専門的資質を備えた教員及び研究者を養成する。 ② 教育実践にかかわる学術諸分野と教育科学の総合的・学際的な教育研究を行うことにより、現在の複雑化する教育問題に対処できる高度な識見と実践力を修得させる。 ③ 幼稚園、小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校の教員及び研究者													
新設学部等において取得可能な資格	【教育学研究科 教育支援科学専攻】 ・小学校教諭専修免許状 ・中学校教諭専修免許状(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語) ・高等学校教諭専修免許状(国語、書道、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、保健体育、保健、家庭、英語、商業) ・特別支援学校教諭専修免許状(知的障害者に関する教育の領域、肢体不自由者に関する教育の領域) ・幼稚園教諭専修免許状 ① 国家資格 ② 資格取得可能 ③ 教職関連科目の履修が必要													
既設学部等において取得可能な資格	【教育学研究科 学校教育専攻】 ・小学校教諭専修免許状 ・中学校教諭専修免許状(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語) ・高等学校教諭専修免許状(国語、書道、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、保健体育、保健、家庭、英語、商業) ・特別支援学校教諭専修免許状(知的障害者に関する教育の領域、肢体不自由者に関する教育の領域) ・幼稚園教諭専修免許状 ① 国家資格 ② 資格取得可能 ③ 教職関連科目の履修が必要 【教育学研究科 障害児教育専攻】 ・小学校教諭専修免許状 ・中学校教諭専修免許状(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語) ・高等学校教諭専修免許状(国語、書道、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、保健体育、保健、家庭、英語、商業) ・特別支援学校教諭専修免許状(知的障害者に関する教育の領域、肢体不自由者に関する教育の領域) ・幼稚園教諭専修免許状 ① 国家資格 ② 資格取得可能 ③ 教職関連科目の履修が必要													
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	授与する学位等		開設時期	専任教員					
	教育学研究科					教育支援科学専攻 (修士課程)	学位又は 称号		学位又は 学科の分野	異動元			助教 以上	うち 教授
							修士 (教育学)		教育関係	学校教育専攻	9	3		
							障害児教育専攻		5	3				
計		14	6											
既設学部等の概要 (現在の状況)	既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	授与する学位等		開設時期	専任教員					
	教育学研究科					学校教育専攻 (修士課程) (廃止)	学位又は 称号		学位又は 学科の分野	異動先			助教 以上	うち 教授
							修士 (教育学)		教育関係	教育実践創成専攻	5	5		
							教育支援科学専攻		9	3				
計		14	8											
教育学研究科	障害児教育専攻 (修士課程) (廃止)	2	3	-	6	修士 (教育学)	教育関係	平成7年 4月	教育支援科学専攻	5	3			
									計		5	3		
									計		5	3		

【備考欄】

・教科教育専攻は、平成22年度から入学定員を33名 → 22名に減

(改組前:平成21年度)

(専攻名)	(入学定員)
学校教育専攻	(6)
障害児教育専攻	(3)
教科教育専攻	(33)
計	(42)



(改組後:平成22年度)

(専攻名)	(入学定員)
教育実践創成専攻 (教職大学院)	(14)
教育支援科学専攻	(6)
教科教育専攻	(22)
計	(42)

教育課程等の概要(事前伺い)

(教育学研究科 教育支援科学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻共通	人間形成の現代的課題	1前	2			○			3	2					私ニハス
	教育支援科学研究Ⅰ	1前	2			○			1	4					
	教育支援科学研究Ⅱ	1後	2			○			3	2					
	小計(3科目)	—	6	0	0	—			6	8	0	0	0	—	
専攻専門	臨床心理学特論	1・2前		2		○				1					6単位 選択必修
	幼児教育学特論	1・2前		2		○				1					
	知的発達障害学特論	1・2前		2		○			1						
	運動発達障害学特論	1・2前		2		○				1					
	比較教育学特論	1・2前		2		○					1				
	日本教育史特論	1・2前		2		○				1					
	教育心理学特論	1・2前		2		○			1						
	社会心理学特論	1・2前		2		○				1					
	教育内容特論	1・2前		2		○				1					
	情報教育特論	1・2前		2		○				1					
	保育実践論特論	1・2前		2		○			1						
	発達障害学特論	1・2前		2		○			1						
	障害児心理学特論Ⅰ	1・2前		2		○				1					
	障害児心理学特論Ⅱ	1・2前		2		○			1	1					
	障害児生理学特論	1・2前		2		○			1						
	比較教育学特論演習	1・2後		2			○		1						
	日本教育史特論演習	1・2後		2			○			1					
	教育心理学特論演習	1・2後		2			○		1						
	臨床心理学特論演習	1・2後		2			○			1					
	社会心理学特論演習	1・2後		2			○			1					
	教育内容特論演習	1・2後		2			○			1					
	情報教育特論演習	1・2後		2			○			1					
	幼児教育学特論演習	1・2後		2			○			1					
	保育実践論特論演習	1・2後		2			○		1						
	発達障害学特論演習	1・2後		2			○		1						
	知的発達障害学特論演習	1・2後		2			○		1						
	運動発達障害学特論演習	1・2後		2			○			1					
	障害児心理学特論演習Ⅰ	1・2後		2			○			1					
	障害児心理学特論演習Ⅱ	1・2後		2			○		1	1					
	障害児生理学特論演習	1・2後		2			○		1						
小計(30科目)	—	—	0	60	0	—			6	8	0	0	0	—	
課題研究	課題研究1	1後	2				○		6	8					複数指導
	課題研究2	2通	4				○		6						
	小計(2科目)	—	6	0	0	—			6	8	0	0	0	—	
合計(35科目)		—	12	60	0	—			6	8	0	0	0	—	

学位又は称号	修士（教育学）	学位又は学科の分野	教育関係
設置の趣旨・必要性			
<p>本学大学院教育学研究科（修士課程）は、現代社会が直面する課題の解決に応用でき、また、これらの応用研究の基礎となる国際的視野を持った創造的な学術研究の推進並びに高度で専門的な知識と能力を有する職業人を養成する教育・研究を目的として、平成7年度に「学校教育専攻」「障害児教育専攻」「教科教育専攻」の3専攻を設置し、これまで修士生を輩出してきているが、教育実践に寄り添う教育研究と地域密着型の大学院への改革を目指して、これまでの3専攻を改組・再編して、「教育実践創成専攻（教職大学院）」「教育支援科学専攻」「教科教育専攻」に改組するものである。</p>			
<p>教育支援科学専攻の設置の趣旨・必要性は次のとおりである。</p>			
<p>I 設置の趣旨・必要性</p>			
<p>1 現行の「障害児教育専攻」は、既に「特別支援教育」と位置づけ直され、いわゆる障害児教育にとどまらず「特別なニーズをもつ子ども」たちの支援に関する幅広い領域へと浸透する教育研究領域となっている。他方、教育学・教育心理学で構成されている現行の「学校教育専攻」も、一人ひとりの子どもたちの教育を受ける権利を保障しその成長発達へのニーズ(必要)に応え成長発達を支援(support, help)する教育実践・教育制度の探求を核とするものであり、かつ現実「発達障害」を有する子どもたちの教育を含んで考えられねばならないものとなっており「特別支援教育」における知見は必須のものとなっている。したがって、これら両者が別個に独立して併存しているのではなく、「教育支援(educational support)」のあり方を共に探求する「教育支援科学専攻」を設置することにより、融合した教育研究領域を形成することで、学校現場のデマンドと研究の必然性に応えることができる。</p> <p>2 本専攻では、学部段階で育成された基礎の上に、自ら新たな教育実践を構想する力の基盤となる教育支援科学的調査研究法と最新の知見を獲得することを目的とする。</p> <p>3 あらゆる子どもに関わる教育支援のあり方を教育実践・教育制度の両面から明らかにする基礎的研究法とそれを駆使した知見の開発の進展と教育を行う。</p> <p>4 本「教育支援科学専攻」は、本学大学院教育学研究科に教職大学院「教育実践創成専攻」を新設し、同時にこれまでの「教科教育専攻」の10専修構成を文化特性に応じた5コース構成に切り直すことに伴って、新たに現行の「学校教育専攻」と「障害児教育専攻」とを学校現場のデマンドと教育研究の必然性に応えるべく融合したものである。すなわち、教職大学院「教育実践創成専攻」は、大学院での地域密着型教員養成を標榜して、山梨県教育委員会との密接な連携のもとに地域の学校の課題に即した学校改善・授業改善プロジェクト実習を基軸に、教育実践に寄り添う教育研究と実践的教師力の育成を目的とするものである。また、「教科教育専攻」は、学部段階で育成された基礎の上にさらに自ら新たな教育実践を構想する力の基盤となる、教育文化(教育内容)の核を構成する本質的知見と教材研究力・教授法の習得に資することを目的とするものである。そこでは、従来教科領域毎に10専修が立てられあまりにも細分化された専修構成となっていたものを改善し、より広い視野から教科の教育内容の奥行きを自ら吟味し教材とそのシーケンスおよび授業法について確信をもって研究開発する力を育成するために、これまでの細分化された専修区分を文化特性にもとづいた五つのコース区分(言語文化・社会文化・科学文化・芸術文化・身体文化)に統合した。</p>			
<p>II 教育課程編成の考え方・特色</p>			
<p>1 教育学・教育心理学および特別支援教育学の分野を総合し、教育支援のあり方を教育実践・教育制度の両面から明らかにする基礎的調査研究法とそれを駆使した知見の開発の進展と教育を目指す。</p> <p>2 教育学・教育心理学および特別支援教育学の分野を総合した「教育支援科学研究」4単位、並びに「人間形成の現代的課題」2単位を必修の専攻共通科目とする。また、指定した専攻専門科目のうち6単位を選択必修科目とする。</p> <p>○ 専攻共通科目（3科目すべて履修する。）の概要</p> <p>「人間形成の現代的課題」 現代における人間形成の問題や学校教育が直面している様々な課題をめぐって、その実態を明らかにしつつ問題点を提示し、多面的な考察視線を養いつつ、解決の方途を探求する。</p> <p>「教育支援科学研究Ⅰ」 現代学校教育（就学前教育を含む。）が抱える諸問題に関して、教育学的な研究アプローチを交差させながら検討する。</p> <p>「教育支援科学研究Ⅱ」 特別支援教育に関する諸研究の方法と知見を概観し、特に知的障害教育を中心に肢体不自由児教育や病弱児教育の各領域についてのさまざまな質的研究法とその成果について考察する。</p> <p>○ 指定する専攻専門科目（4科目中3科目を履修する。）</p> <p>「臨床心理学」「幼児教育学特論」「知的発達障害学特論」「運動発達障害学特論」</p> <p>3 「課題研究1」は、複数教員の指導により、各学生に即した課題と研究法を精錬するための授業科目とし、「課題研究2」は、各学生の修士学位論文指導のための授業科目とする。</p>			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
専攻共通科目6単位、専攻専門科目から18単位（指定した選択必修科目6単位を含む。）、課題研究6単位、合計30単位以上修得し、修士論文審査及び最終試験に合格すること。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要(事前伺い)

(教育学研究科 学校教育専攻 学校教育専修)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通	人間形成の現代的課題	1前	2			○			4	2					オムニバス
	小計(1科目)	—	2	0	0	—			4	2	0	0	0		—
専修共通	学校教育研究基礎論	1後	2			○			4	3					オムニバス
	小計(1科目)	—	2	0	0	—			4	3	0	0	0		—
専修専門	比較教育学特論	1・2前		2		○			1						
	比較教育学特論演習	1・2後		2			○		1						
	日本教育史特論	1・2前		2		○				1					
	日本教育史特論演習	1・2後		2			○			1					
	教育心理学特論Ⅰ	1・2前		2		○			1						
	教育心理学特論演習Ⅰ	1・2後		2			○		1						
	教育心理学特論Ⅱ	1・2前		2		○									
	教育心理学特論演習Ⅱ	1・2後		2			○								
	教育相談特論	1・2前		2		○			1						
	教育相談特論演習	1・2後		2			○		1						
	認知発達心理学特論	1・2前		2		○			1						
	認知発達心理学特論演習	1・2後		2			○		1						
	臨床心理学特論	1・2前		2		○				1					
	臨床心理学特論演習	1・2後		2			○			1					
	社会心理学特論	1・2前		2		○									
	社会心理学特論演習	1・2後		2			○								
	学校経営学特論	1・2前		2		○			1						
	学校経営学特論演習	1・2後		2			○		1						
	教育方法学特論	1・2前		2		○			1						
	教育方法学特論演習	1・2後		2			○		1						
	教育内容特論	1・2前		2		○				1					
	教育内容特論演習	1・2後		2			○			1					
	情報教育特論	1・2前		2		○				1					
	情報教育特論演習	1・2後		2			○			1					
	教育思想特論	1・2前		2		○			1						
	教育思想特論演習	1・2後		2			○		1						
	幼児教育学特論	1・2前		2		○				1					
	幼児教育学特論演習	1・2後		2			○			1					
	幼児心理学特論	1・2前		2		○									
	幼児心理学特論演習	1・2後		2			○								
	保育実践論特論	1・2前		2		○			1						
	保育実践論特論演習	1・2後		2			○		1						
小計(32科目)	—	—	0	64	0	—			8	6	0	0	0		—
課題研究	課題研究1	1通	2				○		7						
	課題研究2	2通	4				○		7						
	小計(2科目)	—	6	0	0	—			7	0	0	0	0		—
合計(36科目)		—	10	64	0	—			8	6	0	0	0		—

学位又は称号	修士（教育学）	学位又は学科の分野	教育関係
設置の趣旨・必要性			
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1 学年の学期区分	学期
		1 学期の授業期間	週
		1 時限の授業時間	分

教育課程等の概要(事前伺い)

(教育学研究科 障害児教育専攻 障害児教育専修)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通	人間形成の現代的課題	1前	2			○			4	2					オムニバス
	小計(1科目)	—	2	0	0		—		4	2	0	0	0		—
専修共通	障害児教育学研究Ⅰ	1前		2		○			2	1					
	障害児教育学研究Ⅱ	1後		2		○			1	1					
	小計(2科目)	—	0	4	0		—		3	2	0	0	0		—
専修専門	障害児教育指導法特論Ⅰ	1・2前		2		○			1						
	障害児教育指導法特論演習Ⅰ	1・2後		2			○		1						
	障害児教育指導法特論Ⅱ	1・2前		2		○			1						
	障害児教育指導法特論演習Ⅱ	1・2後		2			○		1						
	障害児教育指導法特論Ⅲ	1・2前		2		○				1					
	障害児教育指導法特論演習Ⅲ	1・2後		2			○			1					
	障害児心理学特論Ⅰ	1・2前		2		○			1						
	障害児心理学特論演習Ⅰ	1・2後		2			○		1	1					
	障害児心理学特論Ⅱ	1・2前		2		○				1					
	障害児心理学特論演習Ⅱ	1・2後		2			○			1					
	障害児生理学特論	1・2前		2		○			1						
	障害児生理学特論演習	1・2後		2			○		1						
小計(12科目)	—	0	24	0		—		3	2	0	0	0		—	
課題研究	課題研究1	1通	2				○		3						
	課題研究2	2通	4				○		3						
	小計(2科目)	—	6	0	0		—		3	0	0	0	0		—
合計(17科目)		—	8	28	0		—		3	2	0	0	0		—
学位又は称号	修士(教育学)	学位又は学科の分野			教育関係										
設置の趣旨・必要性															
卒業要件及び履修方法									授業期間等						
									1学年の学期区分			学期			
									1学期の授業期間			週			
									1時限の授業時間			分			